

# サステナビリティ 活動サマリ

北海道コカ・コーラグループは「北の大地とともに」をスローガンに掲げ、北海道で生まれ育ったどさんこ企業として、北海道が持続可能な社会となるための活動を幅広く実施しています。

その活動は、「環境」、「社会」、「経済」、3つの領域で展開されています。

## 1. 環境 Biosphere



### 北海道の限りある資源を次世代へとつなぐ

ふるさと北海道の資源を未来へ引き渡していくために、さまざまな取り組みを行っています。



- 温室効果ガス (GHG) 削減 (バリューチェーンの最適化、「ZEB Ready」認証取得、省エネと創エネ、オフサイトPPA)
- 容器の2030年ビジョン (World Without Waste、上士幌町・岩見沢市とのPETボトルリサイクルに関する連携協定など)
- 水資源保護活動 (水源域での森づくり活動、北海道e-水プロジェクト)
- 環境会計 (環境保全コスト、マテリアルバランス)

## 2. 社会 Society



### ネットワークを活かし、社会課題解決に貢献する

日々の事業活動を通して、地域が抱える課題や問題の解決にも積極的に貢献していくことを目指しています。



- 社会課題と関わるさまざまな自動販売機（寄付型自動販売機、災害対応型自動販売機、子育て応援自動販売機）
- 多様な性の尊重（「LGBTQ+アライのためのハンドブック」導入など）
- 地域の企業・団体との連携（酪農学園大学とエコフィード共同開発、海岸清掃活動など）
- 行政・地方自治体との取り組み（北海道との包括連携協定、まちづくりパートナー協定など）

## 3. 経済 Economy



### 北海道のステークホルダーに、新たな価値を提供する

北海道経済の基盤を強く豊かにしていくために、カスタマーや道民の皆さまへ新たな価値を持続的に提供します。



- DXを活かした営業活動（オペレーション用端末の更新、人流データの活用）
- 道民の皆さまとの交流機会の創出（どさんこーク広場、コーヒー石鹸作り体験）
- グループビジネス（リレー輸送、自動販売機の一気通貫サービス、バックオフィスBPO）
- 人的資本の充実（ワークショップ）